



全国通信三田会報

第109号 2019年(令和元年)7月20日 発行

発行 全国通信三田会 会報は正会員の情報紙です。
 発行人 山岡 恒夫 * 年会費 2千円
 事務所 〒300-1282 * 郵便振替番号
 茨城県牛久市井ノ岡町 00120-2-18806
 2117 山岡恒夫 複数年度お支払いの意向を
 TEL 029-875-0533 お持ちの方も会計処理できる
 ようになりました。
 編集人 幸治 典子 * 会への連絡は8面の連絡先へ

第一〇九号

2018年度卒業祝賀会 格別な春 235名♪

頭を取った。「本日御卒業の皆さまは次は2...」

春爛漫の3月25日、慶應義塾大学2018年度卒業式がパシフィコ横浜で行われた。例年恒例の日記記念館は、令和元年は建替え期間中につき昨年同様会場変更となった。通信教育課程から文学部115名、法学部71名、経済学部49名の235名が新たに塾員となった。大学表彰規定により、通信教育課程からは藤井輝久君(法)が表彰状を授与された。卒業式に引き続き、パシフィコ横浜アネックスホール2階にて「卒業祝賀会」が開催された。卒業生を祝い教職員の方々や三田会塾員も集い、総人数約170名で行われた。成し遂げた笑顔あふれる中、品田京子君(通信・経)、石川綾子君(通信・文)の司会による開会の辞の後、応援指導部山本耀之介君のリードで「塾歌」を斉唱し、開会した。



大石 裕 常任理事

最初に、大石裕常任理事より「素晴らしい祝賀会を有難うございます。この度、義塾三田オリックスがスタートします。引き続き、こちらの講座にもご参加ください。ご指導くださった教職員の皆さま、通信OB・OGの皆さまに厚く御礼申し上げます」とお祝辞を頂いた。



左から3学部卒の小島道央君、2学部卒の林真理子君、須賀淳子君

祝賀会も終わりに近づき、真田卒業委員長より「私た...」

学位記を見ると感慨深いものがあります」と苦勞と喜びを語った。歓迎の中を、応援指導部のステージパート1が一層会場を盛り上げた。盛会の中ユニコン賞贈呈となり、全国通信三田会吉浜健二副会長が壇上上がり「おめでとうございませ...」と祝賀の言葉を述べた。通信の卒業には5つの条件が必要だ。1 情熱の学力・2 健康・3 経済力・4 家族や職場の理解応援・5 が一番大切な「運」です。強い運の皆さんと交流を重ねるために、三田会へ入会ください。全国通信三田会と他にも、地域や職場など複数の三田会と交流ください」と挨拶をし、ユニコン賞贈呈が行われた。「ユニコン賞は在学中に慶友会活動において仲間にご尽力くださった塾生に対し、卒業後の全国通信三田会での活躍を祈りこれを顕彰します」との言葉と共に、真田幸昭君、松原由美君にユニコン賞状と盾が、藤井輝久君に感謝状が手渡された。



奈良通信教育部長へ目録贈呈

よう努力することをお誓いいたします」と謝辞のあと、目録贈呈となり、卒業委員会から奈良通信教育学部長へ目録を手渡した。最後に応援指導部のステージパート2がフィナーレを飾った。応援団のリードで参加者一同が円になり肩を組み「慶應讃歌」「若き血」を斉唱し、終了となった。(星野 寿美・記)

(3) 財産目録
平成31年3月31日現在 (単位:円)

科目	科目内訳	内訳金額	金額
I 資産の部	1. 流動資産		
	現金貯金	現金手許有額 109,718	
		郵便振替 214,000	
		郵便局総合貯金 2,759,860	
	郵便局定期貯金 3,000,658		
資産合計			6,084,236
II 負債の部	1. 流動負債		
	前受金	前受金費 278,000	
負債合計			278,000

執行部においてパソコン2台、プリンター1台、会員管理ソフト一式、取材用カメラ1台管理保有する。

平成30年度会計監査報告書

平成31年4月12日にNPO法人EDGE(港区芝3-6-5)にて、大川成一会計より提出された平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日)会計に関する全ての証憑書類をもとに、以下の通り会計監査を実施した。

入金関係(収入の部):郵便振替証憑により入金確認した。会費、入金等は全て郵便局に入金されているので、「郵便振替受払通知書」により連続番号、記載金額、記載名義確認のうえ、振替伝票起票、元帳記載を確認した。

出金関係(支出の部):経費等支出金すべてを領収書、支払証憑を確認した。財産目録関係(期末未納帳残高、郵便振替受払通知票、郵便総合貯金と貯金通帳)を確認した。

以上、会計監査の結果、全国通信三田会の平成30年度の収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、当会の規約を遵守し、証憑すべての記録を正確に記録保存しており、当会監査人はこの帳票と報告書を適正と認めます。

令和元年5月7日

全国通信三田会監査人 (丸尾 隆彦)
 全国通信三田会監査人 (柴田 章弘)

(1) 収支計算書
(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日) (単位:円)

科目	予算額	決算額	増減額
1-1: 収入の部			
会費収入	700名 1,500,000	570名 1,393,000	130名 -107,000
受取利息	1,000	239	-761
行事収入	363,000	258,000	-105,000
寄付金	30,000	14名 65,000	35,000
前受より会費収入振替	49名 106,000	49名 106,000	0
当期収入合計(a)	2,000,000	1,822,239	-177,761
前期繰越収支差額(b)	5,637,626	5,637,626	0
収支合計(c)	7,637,626	7,459,865	-177,761

1-2: 支出の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	増減額
会議費	437,000	267,539	-169,461
渉外費	100,000	87,642	-12,358
ユニコン賞支出	10,000	0	-10,000
事務費	50,000	75,737	25,737
通信費	50,000	35,167	-14,833
印刷費	500,000	510,377	10,377
編集費	70,000	70,000	0
地域三田会援助金	20,000	40,000	20,000
データベース運用費	70,000	70,000	0
情報機器購入システム費	50,000	31,816	-18,184
渉外活動費	50,000	20,000	-30,000
行事支出	363,000	195,700	-167,300
情報送付代	220,000	249,651	29,651
予備費	10,000	0	-10,000
当期支出合計(d)	2,000,000	1,653,629	-346,371
当期収支差額(a)-(d)	0	168,610	168,610
次期繰越収支差額(c)-(d)	5,637,626	5,806,236	168,610

(2) 貸借対照表
平成31年3月31日現在 (単位:円)

科目	科目内訳	前年度決算額	当年度決算額
I 資産の部	現金預金	5,871,626	6,084,236
	1. 流動資産	0	0
	2. 固定資産	0	0
資産合計		5,871,626	6,084,236
II 負債の部	前受金	234,000	278,000
	負債合計	234,000	278,000
正味財産の部			
正味財産		5,637,626	5,806,236
(当年度正味財産増減額)		987,537	168,610

ユニコン賞推薦要綱

ユニコン賞は、慶應義塾大学通信教育部開設20周年を記念して、1967年に制定されました。在学中、各慶友会において、学習リーダー等として、学友のために献身的な努力をされた方の労に感謝と希望を込めて、全国通信三田会がお贈りいたします。

つきましては、今年度の9月ご卒業ならびに3月ご卒業予定者の塾生で、各慶友会活動に尽力され、それを活かして三田会でも活動してくださる方を下記の要領で推薦を頂き、全国通信三田会(役員会)が厳正なる選考の上で受賞者を決定します。

- ①被推薦者直筆の略歴 (入学年度+慶友会での活動経歴+卒業予定年月)
- ②被推薦者の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、Eメールアドレス(直接連絡可能なもの)
- ③活動を証明する資料 (慶友会に関するニュースレター・会報等)
- ④所属する慶友会会長、同代表者の推薦書
- ⑤地域通信三田会会長の推薦書(面談の上)
- ⑥本人の顔写真(スナップ可)

※締め切り日は 毎年2月中旬~月末
 推薦書は指定の送り先へ (ユニコン賞推薦書在中と朱書き)
 詳細及び送り先は下記メール(総務)宛に
 Eメール: keio2mita-soumu@freeml.com

第11回 北関東合同通信三田会のご案内

期 日: 2019年(令和元年)9月7日(土)「茨城当番県」
 集合時間: 11:00 JR常磐線 牛久駅 東口
 見学: 牛久シャトー内、神谷傳兵衛記念館(日本初本格格的ワイン醸造場)
 その後、記念館近くのそば処[ふしみ]会食・懇親会 牛久市中央4-7-1 「牛久大仏」拝観等 牛久市野町2083 Tel 029-889-2931
 会 費: 5,000円(拝観料800円/一人含む)
 解散地: 牛久駅 東口 解散時間: 16:00(予定)
 連絡先: 茨城通信三田会: 029-273-5150 文責: 副会長 山木直人

会への連絡は下記へ

下記のようにご連絡くださるようお願いいたします。

◎会への意見など
 事務所へは郵送のみでお願いします。緊急の用件の場合 会長へ Tel 029-875-0533 山岡方(夜間7時~11時まで)

◎住所・姓名変更 退会 逝去者など
 田沼方 Fax 03-6874-6718 (住所変更は下記塾員センターへご一報!)
<https://wwwdc01.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html>

◎新入会申し込み、会計関係(文書で)
 〒340-0003 埼玉県草加市福荷2-5-2 大川成一

◎「全国通信三田会報」原稿送り先
 〒376-0101 群馬県みどり市大間々84-18 星野寿美方
 Tel & Fax 0277-73-1529
 Eメール sincere@vi.sunfield.ne.jp
 次号原稿締め切り 令和元年12月末日まで 原稿字数 8000文字

ご寄付いただき有難うございました (平成30年度)

奈良雅俊通信教育部長
 赤岡 充雄様(神奈川県)
 大森 伸司様(岡山県)
 小菅 博子様(神奈川県)
 篠崎 仁史様(愛知県)
 西川 みちよ様(秋田県)
 伏屋 重晴様(愛知県)
 星野 寿美様(群馬県)
 前田 文子様(沖縄県)
 水木 國美様(北海道)
 茂木 瑞枝様(群馬県)
 山川 泰代様(神奈川県)
 吉澤 好子様(神奈川県)
 吉永 興子様(神奈川県)

ユニコン賞
受賞者紹介

眞田 幸昭君
平30・9 経卒
東京三田クラス

平成22年4月、経済学部に入學、平成30年9月に卒業。眞田君は会長を三期(平成25年、平成27年)務めた。この間、会員の役割分担明確化をはじめ、会計業務を除く毎月の例会主宰、講師派遣の調整、学習会の立案、学外会場の手配など多くの役割を積極的にこなし、慶友会の運営に尽力した。会長退任後の昨年度は、経済学部の副会長として、新入学生へ「塾生ガイド」を読む」と題した講演を行った。平成30年度卒業式終了後に行われた全国通信学生主体で開催する「卒業祝賀会」では、準備委員長として祝賀会を大成功に導いた。塾員となった今でも、先輩として、引き続き東京三田クラス・通信教育学生の良き相談相手として奉仕している。



右から、吉浜副会長、眞田君、松原君、藤井君

3月に卒業。松原君は入学間もない時期からの役員を担って会長・副会長を三期(平成25年、平成30年)の長きにわたり務めた。明るい性格で、会員各位を惹きつけ、また献身的な行動力をもって定期的な例会や講師派遣講演会などの開催、時々の懇親会を行った。そして、会長として会報誌「PHILOSOPHIA」の内容充実を各役員と推し進めると共に、「卒論発表会・懇親会」を積極的に開催することで、慶友会会員相互のコミュニケーション向上に貢献した。また、平成29年に愛知通信三田会が開催した塾員・塾生交流会にも

感謝状
贈呈者紹介

藤井 輝久君
平31・3 法卒
東京三田クラス

平成15年9月、法学部(甲類)に入學し、平成31年3月に卒業した。藤井君は平成30年度「卒業祝賀会」の準備委員として委員長の眞田幸昭君と共に開催準備・運営に尽力したことにより感謝状を贈呈された。

2018年9月卒 2019年3月卒 卒業生数表

慶應義塾大学入学式 塾員50年招待参加報告

平成31年4月1日慶應義塾大学入学式に卒業50年塾員として招待されたので報告します。通信教育部卒業生は入学式が未経験である(随時入学のため)。私にとっては初めて入学のため、最後の入学式体験となる卒業25年に塾員招待された時、卒業式を終え日吉記念館を出ようとした時に「小松君じゃない」と声をかけられた。「佐藤です。三重の」25年目の再開であった。彼と私は同年の昭和44年に卒業。卒業を祝うパーティー会場、目白椿山荘にはタクシーで一結した。パーティー終了後、数人の同窓生と再開を約束して別れた。その日から25年後、卒業式塾員招待会場ホテルニューオオタニで歓迎。パーティー終了後、佐藤君はじめ数人と50年招待での再会を約束して別れた。それから25年、今回の卒業50年の案内が来た。佐藤君に再会の手紙を送り出席を確認した。さて、卒業後50年を半世紀に置き換えるならば、50年間無事で生きてこられたと思つた。台風が耐え阪神淡路大震災を免れ、病気に倒れることなく、今日まで生きてこられた。振り返れば、学生の頃、沖繩は米国の占領下で沖繩の人はバスポートを持ってスクーリング

第47回札幌通信三田会総会報告
札幌通信三田会 幹事 小島道央

本年4月13日午後5時より札幌エクセルホテル東急「石狩」にて、第47回定期総会を行う。本年も愛知通信三田会名誉会長で全国通信三田会副会長の伏屋重晴君が出席して頂いた。司会は、山田事務局長。木曾幹事より、開会の辞。全員起立し「塾歌」を斉唱。初めに吉田会長から次のように挨拶があった。

会長紹介

福岡通信三田会
古賀敏生 会長



古賀会長と私の出会いは、40年ほど前の慶友会時代です。二人の職場が近かつたこと、又一緒に勉強する仲間もいたことから「みんなで早く卒業しよう」を合言葉にお酒を飲むのも忘れずに勉強したことが思い出されます。福岡通信三田会は、今年の4月に第16回の総会を迎えました。この間古賀会長には、幹事や会計、副会長など活動開始から現在まで本会の運営に関わっていただいています。

「今上天皇が生前退位されて平成から5月1日より令和と改元。昨年9月北海道胆振東部地震が起こり、ブラックアウトを経験し電力の重要性を再認識した。昨年2月、2名が入会。昨年の活動では、見学会は札幌ドーム見学を実施した。また、学ぼう会など年間計画に基づいて実施した。今年度も新しい体制で、皆さん

の協力で進めていきますのでよろしく願います。」次に議長に吉田美路子君を選出し議事に入る。報告事項として平成30年度の活動報告、会計報告及び監査報告を行う。議事事項として令和元年度の活動方針、予算及び役員改選を行った。本年度から副会長として小島君が就任されたので、挨拶がありました。その他の事項として、吉田会長より「来年当通信三田会が創立50周年を迎えるが、その記念講演会・祝賀



会を7月4日に実施の予定である。これから本格的に準備に入ります。」とのコメントがあった。なお、報告事項・議事事項とも異議なく承認された。閉会の辞の後、記念撮影をして総会を終了した。会場を移動し懇親会に入る。司会は山田事務局長。初めに吉田会長が挨拶。次に伏屋愛知通信三田会名誉会長から次のように挨拶があった。

現在は2年任期の3期目に入り、会員の皆さんが楽しんで集まれる機会を作ろうとサービスピリットを取り組んでおられます。(写真のお顔からは想像できないかもしれませんが?) 次に、本会の活動状況ですが、年に数回の行事(総会、日帰り研修、忘年会か新年会、それに「九州合同通信三田会」や「福岡三田会」への参加)を行っています。会員の皆さんが年に一回でも参加していただき楽しんでいただければと考えています。そこで、最近「忘年会・新年会」は夕方ではなく参加しやすいお昼にホテルのレストランでランチしながらゆっくりとした時間を過ごす企画を行っています。また、「日帰り研修」では県内で個人では行かないようなところを考えて企画しています。昨年は「九州国立博物館」のバックヤードツアー(あまり知られていないので)に参加し、建物の免振装置や収蔵庫ののぞき窓などボランティアガイドの方の説明を聞きながら回りました。会長に趣味のことをこれまで聞いたことがなく今回の記事のために聞いてみると、予想

どおり、趣味はないということでした。それでも何かないかしくく聞くと、趣味というレベルではありませんが料理するのが少しだけ好きかもしれないということでした。なんとマイ包丁を持っているそうです。会長の性格は、いたって真面目、それ以外考えられませんが、大きな病気を経験するまでは、いつもよくよく考えてしまうタイプだったと本人は言っていますが(私からはそうは見えませんが)、この病気を経験して人生はなるようにしかならない、今やれることをやってみようという考えに変わったそうです。最後に、会長から今の気持ちをお聞きしました。「何か役割を任せられることや、やるべきことが生活にメリハリを持たせ健康にもいい影響があるのではないかと考えています。現在、三田会などで役割を任せられていることは大変幸せなことであり、それを続けることで自身の成長や健康にも大いに役に立つと思っております。継続することで力がもらえると考えています。」ということでした。(福岡通信三田会 顧問 松尾成男)

『2018年度通信教育課程卒業生』は235名 (男性110名 女性125名) 卒業生累計 (2018年9月) (2019年3月) 男性 8,138名 8,207名 女性 7,489名 7,568名 2018年度末の通信教育課程卒業生数は、15,775名となった。 文責: 上記数値は全国通信三田会で累計した。大学側は未公開 全国通信三田会渉外部

2019年全国通信三田会春期幹事会 5月25日(土) 13:30~15:00

ホテルメトロポリタン 秋田3階「ジュエルB」

吉浜副会長の司会により開会。議長ならびに書記が選出された。

- 議長：高橋豊副会長 ●書記：須賀総務部副部長
●次に須賀総務部副部長より出席確認があり、会議成立の宣言がなされた。幹事総数113名：出席32名(28.3%)
欠席(委任状有)18名(15.9%)、合計50名(44.2%)

1 議事次第

- 1. 山岡会長挨拶。資料により報告。
日吉の新記念館は2020年3月竣工予定。令和になって初めての卒業式は新記念館で挙行予定。
●秋田通信三田会 進藤会長より挨拶。三田会に参加するのは初めて。一堂に会することで相互交流を深めたい。
顧問紹介 横山(札幌)・田中(東京)・鈴木(札幌) 各顧問。
●秋田通信三田会よりオブザーバー多数参加。会の運営に多くのご協力をいただいた。

2. 各部報告(各資料参照)

- 2-1 企画部：出口企画部長より報告。
2-2 会計：大川副会長より報告。
会計監査：丸尾会計監査より報告。
2-3 広報部：星野広報部長より報告。
2-4 渉外部：迫部長より報告。
6月末頃卒業生名簿を入手後速やかに各地域へ発送する。
2-7 総務部：須賀総務部副部長より報告。
2-8 地域連絡部：瀬戸田地域連絡部長より報告。
●北海道：鈴木地域連絡部副部長より報告。
●東北：末永宮城通信三田会会長(小林地域連絡部副部長代理)より報告。卒業生が少ない。
●北関東：丸尾会計監査(山木地域連絡部副部長代理)報告。
●東海：伏屋地域連絡部副部長より報告。静岡クラブは本年7月6日(土)に総会を開催し新体制を決定。
●中国：小河地域連絡部副部長より報告。山陰は高齢による退会や活動不能で実質休眠状態。
●九州：堀田地域連絡部副部長より報告。本年9月7日(土)第13回九州合同通信三田会会長崎大会開催予定。

3. 各地域三田会報告(各資料参照)

- 東京：田中副会長より報告。幹事交代：(退任)沖松昌朗→(新任)伊藤岳之。ネットによる入会が多い。
●茨城：丸尾君より報告。2019年6月2日(日)定期総会。
●大阪：慶友三田会野村会長より報告。
●神奈川：迫副会長より報告。本年の連合三田会大会の交流場所を確保する。●千葉：渡邊会長より報告。
●愛知：岩田会長より報告。●札幌：吉田会長より報告。
●秋田：進藤会長より報告。●宮城：末永会長より報告。
●群馬：星野君(矢島会長代理)より報告。本年5月11日(土)総会にて矢島聖剛君に会長交代。
●京滋：河合君(戸井会長代理)より報告。
●岡山：大森会長より報告。●広島：迫田会長より報告。
●山口：由元会長より報告。●熊本：田口会長より報告。
●長崎：堀田会長より報告。11月上旬に創立20周年記念一泊旅行を中津市にて企画。

4. その他

- 吉浜副会長より卒業生名簿は塾員センターにて住所変更など慎重に調査中。名簿の入手は6月末頃の予定。高橋議長より報告。今年度は2年に1度の会長改選にあたる。7月に会長改選の公示(HP掲載)をし、8月末まで会長立候補者受付のうえ選挙。
●次回秋期幹事会日程：本年10月19日(土)三田キャンパス西校舎(文責 2019/05/27 総務部副部長 須賀淳子記) *HP参照

II 記念講演会：15:15~17:00(参加者39名)

演題『酒屋萬流 酒もいろいろ』

清酒『高清水』醸造元 秋田酒類製造(株) 常務取締役生産本部長 古木 吉孝 君

実際に開発し一昨年発売になった黄金の酒や、カラフルで図表を多用したスライドをたくさん準備し講演した。お酒にまつわる話をわかりやすくおもしろくされ、笑い、拍手がひんぱんに起こった。講演は、15時15分から16時半まで行われた。「二級酒の味を一級酒に変える魔法の石」を調べたエピソード、オイルショック時の吟醸酒は救いの神。その後、焼酎ブーム、大吟醸酒ブーム。最後に、「昭和は大企業が酒をつくった時代、アルコール度による級別格付けの時代」、「平成は小が大に勝つ時代、大企業が消え、ベンチャー企業が突然現れる時代、製法による酒の格付けが行われた時代」、そして「小が集合巨大化する時代」、「令和はカテゴリーフリーの格付けからはずれた、おいしい酒の時代」と述べ、お酒に込めた思い、黄金色のために普通は15年かかるところを半年で成しとげた情熱を語った。



演題『インドのマザー・テレサ施設でリハビリテーション』

秋田通信三田会会長 進藤 伸一 君
講演は16時半から17時まで行われた。進藤会長は、理学療法士であり、1988年文学部卒業の塾員。秋田大学名誉教授を早期退職後、

◎自給自足をめざす農的生活、◎「いのち」のケアに関する研究・教育・臨床、◎ボランティア活動(秋田市内のホスピス(2カ所、週2日)・インドのマザー・テレサ施設(年1回、3週間))を行う生活をしている。

マザー・テレサが1952年に貧しい人々への奉仕のために設立した最初の施設である「死を待つ人の家」で、理学療法士として技術指導のボランティア活動をした時のスライドを上映しながら、世界中からやって来るボランティアの方々ご自身の体験を話された。無償でインドまでやってきて、助けが必要な人たちに愛の手を差し伸べるボランティアの方々の献身的な姿に、感動の声が上がった。

最後に、マザー・テレサのお墓を上映し、「愛の共同体」について熱く語った。(安東 幹・記)



第24回中国・四国合同通信三田会 広島大会報告

4・20

広島通信三田会長 迫田 勲 記

4月20日、広島市東区の「神山山荘」で第24回中国地方と四国地方の各県通信三田会の合同大会を開催。来賓として全国通信三田会伏屋重晴副会長(会長代理)、同田沼千鶴子副会長、塾員センター小島与志生部長、広島慶應倶楽部大方幸一郎副幹事長(幹事長代理)、記念講演の講師、オタフクホールディングス株式会社佐々木孝富専務取締役の各塾員がご出席、中四国会員はもとより石川、愛知、滋賀、兵庫の通信三田会会長も出席、総勢40名の大会となった。

大会式典では全国通信三田会中国地域連絡部小河和子副部長の司会で始まり、塾歌斉唱、地域連絡部瀬戸田誠部長の挨拶、広島通信三田会会長の歓迎挨拶、来賓の祝辞、紹介で式典を終えた。引き続き全員で記念撮影。その後オタフクホールディングス株式会社佐々木孝富専務取締役(平成4年商学部卒)から「オタフクとお好み焼」について記念講演。広島から始まったお好み焼が食文化として海外にまで広がっているが地域重視の企業姿勢のお話に感銘を受けた。その後各県通信三田会の活動報告や課題等について会議、最後は懇親会、広島慶應倶楽部中本幸三様の祝辞、広島通信三田会新田政丸顧問の乾杯音頭で始まり、余興として広島通信三田会員の榎原宏明君が作詞作曲した「一度きりの恋」を独唱した。



オタフク「OKOSTA」でお好み焼体験



4名、高知1名、石川1名、愛知1名、京滋1名、兵庫1名、広島慶應倶楽部1名、尚、広島慶友会から1名出席予定であったが、急用で急遽欠席となった。

令和元年6月23日(日)13時半より、市川市内のサンシティ(山崎製パン企業年金基金会館)にて、29名が出席して令和元年度千葉通信三田会総会が開催されました。来賓の全国通信三田会山岡会長から、「慶應義塾大学は世界の大学ランキングベスト100に入っていて、日本の私立大学では日本一、卒業生が世界で活躍している大学であり、そういう三田会を卒業して、とお会いできて大変嬉しです」とのご挨拶を頂きました。

総会の議事の中では、今年度新たに新入会員が1名入会したことも報告されました。総会終了後、今回の特別講演として、日本画家鈴木國男先生より、「日本アートの楽しみ方」日本美術って面白い!日本美術最前線」と題した講演が行われました。鈴木先生は、新潟県燕市のご出身で、水をモチーフとした作品で高い評価を得られておられ、国内外での個展の他、Facebookやインスタグラムでの情報発信も好評な現代日本画の先生です。

講演では、「最近日本で開催される美術展は、日本の美術のユニークさに着目したものがたくさんある」と話され、この中で、昨年西洋美術館で開催された「北斎とジャポニズム」をはじめ、近年開催された様々な面白くて、奇想天外で、楽しい美術展についてご紹介があり、北斎や若冲などのエピソードを交えその話の内容の面白さに皆が引き込まれました。特別講演会終了後は、記念撮影、そして会場を移動して懇親会が開かれました。そこでは、幸治典子君による千葉県房総の無形民族文化財「東浪見甚句」の踊りの披露や、渡辺佑二君によるハーモニカ演奏などがあり大いに盛り上がりました。最後は皆で「若き血」を歌い上げ18時にお開きとなりました。千葉通信三田会では、懇親会やレクレーション活動などを通じて会員間の親睦を深めています。令和新时代、これからも楽しい会にしていきたいと思っています。(千葉通信三田会幹事 会報編集・細田理聡)



令和元年 千葉通信三田会 総会 6・23 山崎製パン企業年金基金会館にて開催

2019年3月卒業の県別氏名

*県別、氏名等は入手資料に基づくものであり、9は2018年9月卒業生、3は2019年3月卒業生です。

北海道(2名) 新岡 竜太郎 3文 小島 道央 3経	青森県(2名) 山上 佳男 9経 長牛 友重 3政	宮城県(1名) 鈴木 雅憲 9経	岩手県(1名) 皆川 修 3文	茨城県(6名) 緒方 龍二 9経 池田 眞理子 9法 古賀 和美 9法 海老原 洋子 3文 間島 稔 3文 豊田 絵美 3政	栃木県(4名) 志賀 守 9文 今高 城治 9政 福田 貴行 9法 福田 恵美 3政	群馬県(4名) 蓮沼 利枝 9文 芝野 義一 3文 池田 千代子 3文 山口 和男 3経	埼玉県(21名) 小泉 多絵 9文 五味 正裕 9文 深野 敦史 9経 鍋木 孝治 9法 西倉 務 9法 金子 卓矢 3文 武田 信子 3文 平野 京子 3文 梅崎 哲雄 3文 鈴木 次男 3文 藤澤 徳恵 3文 渡部 美優貴 3文 新井 博子 3経 河田 優子 3経 須賀 淳子 3経	千葉県(20名) 稲森 英彦 9文 大河原 佳代 9文 高松 まゆみ 9文 福沢 康子 9文 福田 大輔 9文 北川 聖三 9経 木下 澄江 9経 守谷 映美 9経 鈴木 広行 9法 小林 眞実子 3文 林 眞理子 3文 吉村 由美 3文 伊藤 俊祐 3文 太田 由美子 3文 川又 崇浩 3文 板谷 近男 3経 井上 あかね 3経 吉田 さと子 3経 北原 聡美 3政 木村 恵子 3政	東京都(79名) 秋山 邦夫 9文 浅見 廣子 9文 内田 美加 9文 北川 照久 9文 児島 誠 9文 酒井 照代 9文 佐々木 千尋 9文 鷺見 早織 9文 谷崎 美枝子 9文 槻谷 幸英 9文 中野 美香 9文 西山 悦男 9文 根本 義博 9文 古屋 水脈 9文 升水 紀子 9文 村瀬 弘美 9文 森 あゆみ 9文 石倉 茂 9経 眞田 幸昭 9経 芳志戸 眞知子 9経	神奈川県(37名) 安達 美香 9文 阿部 浩子 9文 伊藤 博忠 9文 笠井 幸司 9文 柴田 洋一 9文 霜田 重春 9文 千葉 利彦 9文 細田 麻祐美 9文 八重垣 晴美 9文 横目 恭子 9文 滝口 麻美 9経 塚原 和宏 9経 長島 千絵 9経 小田 純花 9法 渡部 恵美子 9法 勝間田 眞理子 3文 小池 保江 3文 橘 義昭 3文 中村 明子 3文 水馬 京子 3文 桐谷 祐美 3文 原田 知子 3文 丸山 由利 3文 村田 美栄子 3文 山口 みさ子 3文 大蔵 貴寛 3経 高田 遼督 3経 高橋 清美 3経 村田 正博 3経 森 靖恵 3経 保永 昌司 3経 古橋 信之 3法 北岡 めぐみ 3政 佐藤 一彦 3政 椎 茂一 3政 原 裕一 3政 村上 三朗 3政	富山県(1名) 永井 優子 9法	山梨県(2名) 小谷 優子 3文 笹本 洋子 3文	長野県(4名) 塩川 敏弘 9文 寺村 美和子 9政 北原 直泰 3文 高倉 亜希 3法	岐阜県(2名) 柴田 喜朗 9政 松原 由実 3法	静岡県(7名) 糠谷 恵子 9文 眞部 律子 9文 村上 睦子 3文 荒武 浩司 3経 椎原 浩雅 3経 黒田 修右 3法 藪下 和行 3法	愛知県(6名) 三輪 直輝 3文 渡邊 明子 3文 井垣 弓美 3経 辻 敬雄 3経 大津 雅之 3法 内藤 雅秀 3法	三重県(1名) 長谷部 早苗 9法	滋賀県(1名) 岡田 和治 3文	京都府(5名) 前川 暁 9法 清水 宏樹 3文 田中 義信 3文 富田 恵子 3文 上谷 和正 3政	大阪府(5名) 岩瀬 奈津代 9文 柳川 絵美 9文	富山県(1名) 須川 三郎 9経 赤井 千絵 3文 駒谷 剛志 3法	兵庫県(4名) 田中 尚子 9文 井上 健太郎 9経 平林 朋子 3文 藤谷 創 3文	鳥取県(1名) 神崎 哲郎 9文	岡山県(3名) 高橋 祐貴 9文 荒井 輝年 3文 川上 佳大 3経	広島県(3名) 伊藤 孔 9文 松田 朋子 9文 内野 隆明 3経	徳島県(1名) 梅山 麻美 3法	愛媛県(3名) 川口 華代 9法 二宮 敏夫 9政 井上 久子 3文	福岡県(5名) 徳永 ミユキ 9法 宮原 郷土 9法 識井 恒子 3文 穴見 琴枝 3法 藤田 達也 3法	大分県(1名) 後藤 芳弘 3法	非公開(3名)
---	--	----------------------------	---------------------------	---	---	---	---	---	---	--	----------------------------	--	---	--	--	---	-----------------------------	----------------------------	---	---	--	--	----------------------------	--	---	----------------------------	--	---	----------------------------	----------------

塾員紹介

昭和20年代の夏期スクーリング



ちゅう
白旗 中さん
(昭和30文)

戦後のすぐ昭和23年1月に通信教育が始まり、三田に、日吉に通教生の姿があった。その中のお一人だった白旗さんに、昭和20年代の学舎の様子を伺いました。

(聞き手・幸治典子)

Q 昭和25年に三田で学ばれて、当時は宿舎が学校の研究棟だったと伺っていますが、どんな生活でしたか？

A 旧図書館から西へ4棟目の研究棟が仮宿舎となり、折り畳式の簡易ベットが貸与され私物はその下に収め、清掃は全員で行った。私どもの部屋は20余名で、最高齢者は40歳代の住職であった。宿舎の入り口付近で自炊する者もいたが、大部分は商店街で食事した。食券の提出が必要な時代で、1枚で1食分、コッペパン1個と定食のどちらかを選ぶというもの。食後はお茶をどんぶりに2、3杯飲むのが常であった。味噌汁の中の茄子が1片でも多い食卓を選んで移動した。

夕食後は三田の山へ帰る。「幻の門」を通り、さらに坂を登り詰めた所にある木製の長椅子に座り、暮れ行く海を眺めた思い出が今更懐かしい。洗濯は外の排水場でおこなった。ある日、片腕の学生が一人で洗濯物を股間に挟んで一人で絞っていた。彼は戦傷者で、意識を回復した時は、米軍野戦病院に収容されていたという。収容所での生活は階級や日米兵間の差別がなく、バスケットの日米対抗戦が頻繁に行われ、図書の利用も自由であった。そのおかげで英語の教師になった。

Q 日吉には米軍のカマボコ兵舎が、まだ残っていたと？

A 駅前の道路を横断し、銀杏並木を通って、日吉記念館へと向かうのだが、並木の入り口付近で左側低地に目をやると、そこに米軍のカマボコ兵舎が立ち並んでいて、暫くの間見受けられた。後年知ったことだが日吉キャンパスの裏に地下壕があり、旧日本海軍司令部が設置され、不沈艦大和への出撃命令は此処から発せられたという。

Q その中で先生も、学生も、教え、学ぶ幸せをかみ締めていたのですか？

A 受講は、椅子3人掛けであるが、講義によつては4人掛け又は廊下に立ったままの受講となるので、席取りに走ったものだ。どの講義もマイクはなく、90分間と終わると、汗で各自の尻のあとがハッキリと椅子に残った。

先生も汗びっしょりで、塾通信事務局も、夏期スクーリング生の大部分が地方出身者ということから大変懇切に対応してくれました。今と異なり、冷房はなく、マイクのない状態の授業は大変であったが、当時の学生は、心身全体をぶつけて、まじめに取り組んでいた。戦争で奪われた平和な日々に通学に励むことを渴望していたから。

Q 楽しかった思い出は？

A 都会の夏はことに暑い！涼を求めゆくりつくりしたいと誰かと思う中、熱心に講義を担当された塾の先生方！私共は思ったより率先して講義を担当された方々に感謝！

昼休みに流れる塾歌・応援歌で自然に歌曲を覚えた。池田弥三郎教授による歌舞伎鑑賞で楽屋訪問。

さらには「山食」が牛乳の値段を据え置いてくれたことなど。思い出に感謝！

Q 現在の通教生に伝えたい事

A 通教生は、それぞれ事情があって、一般学生とは異なる道を歩んだ。それゆえ仲間との交流を大切にしたいものだ。

塾は、卒業式、入学式、卒51年以上と、毎年塾員招待会を開催している。卒業後も繋がりを大切にしている。「塾生の教えを体し、日々生きる」ことを念願する今日である。と言えれば立派すぎるかな！

わが町紹介 鳥取県米子市



皆生温泉街

私が住む鳥取県米子市は、2015年経済産業省調査の生活コスト「見える化」システムにおいて「暮らしやすさ日本一」と評価されました。このシステムは生活利便性、働きやすさ、教育・子育て、医療・福祉、災害対策、自然環境、ライフスタイルなどの暮らしやすさに関する指標を貨幣価値で表したものです。特に医療・介護施設の数が多く内容も充実しており、子供からお年寄りまで安心して暮らせる町です [2015年経済産業省資料より]。

『皆、生きる』は住民の特性を表す言葉でもあります。米子は、太古には中国大陸や半島からの文化の流入口として、江戸中期から明治初年にかけては北前船の立ち寄り地、商業都市として発展しました。江戸時代城下町でありながら240年間藩主不在であったため町の出入りが厳しくなかったことから、旅人や新しい物事を偏見なく受け入れ、余計な干渉をせず、他者の意志を尊重し、心温かくもてなす自由でおおらかな精神が育まれています。同時に、人と争わず節度を守りながら秩序正しく自立して行こうとする商人気質が生まれ、『皆、共存共栄して生きる』ことが米子人の知恵となり、現在まで脈々と受け継がれています。

周年記念事業企画会議)において「海を生かせるもの、健康イメージがアピールできるもの、どうせやるなら日本で一度もやっていないスポーツ」を探していた時、「ハワイで始まったばかりのトライアスロンという新しいスポーツをやろう！」という斬新なアイデアが生まれました。その着想にスタッフが皆共鳴し、迅速果敢にハワイ大会出場経験者からの情報収集やマニュアルの翻訳、数十回に渡るコースの検討等を行い、たった半年程で総距離100kmに及ぶ舞台を作り上げ、1981年8月20日、日本初のトライアスロン大会の開催が成し遂げられました。今年(2019年)第39回を迎えます。

米子には『皆、生きる』と書いて『皆生(かいけ)』と読むところがあります。その昔、島根県出雲の稲佐(いなさ)の浜から泡となって流れ出た魂たちがこの海岸に流れ着き、新しい身体と心によみがえり皆生まれ変わったことから、当地を『皆生』と呼ぶようになったという伝説に基づいて名付けられました。つまり『皆生』は古来から復活・再生を意味する「ヨミガエリ」の地なのです。良き水と滋養に満ちた『皆生』の癒しエネルギーによって、萎えて死にかけていたものを蘇生させる「ヨミガエリ」のパワーが米子にはあるのです。

また、米子市皆生は【日本トライアスロン発祥の地】でもあります。1981年、当時の温泉組合青年部が《皆生温泉開発60

好奇心旺盛で新しいものが大好きな性格と、中庸平凡で堅実であることを「善」とする気風が同時に存在する平和な町米子。その平和の水面下には恒に、ヨミガエリ、再生、共存共栄のエネルギーが湧き出ているのです。 松本 浩子 (H7年経卒)

皆生は日本トライアスロン発祥の地



★会費納入について
当通信三田会の会計年度は、4月～次年度3月となっております。そこで例年7月に年会費払込の振替用紙を同封させていただきます。年会費2,000円です。複数年お払い込みの方はその旨ご記入下さい。2019年度の会費を前納されている方の請求書は入っていません。